

やまぐち
広報

No
1040

今号の主な内容

町長からの年賀状／新春インタビュー	2～3
税の申告が始まります	4～5
町のわだい	6～7
みんなのスペース	10

おいしい新巻できるかな

織笠小（佐々木計校長）の5年生14人と轟木小（鈴木俊行校長）の5・6年生12人が12月6日、三陸やまだ漁協の織笠ふ化場・採卵場で恒例の新巻きザケづくりに挑みました。児童らは、サケの腹を包丁で割いて洗い、塩漬けにする作業を体験。織笠小5年の阿部伊祥さんは「内臓を取るのが難しかったけど、塩を擦り込むところは楽しかった」と話していました。

1月1日号 2014

町長からの年賀状

謹賀新年



山田町長 佐藤信逸

新年あけましておめでとうございます。
本年が山田町、そして町民にとって良い年になることを祈念いたします。
昨年を顧みますと、多くの難題があった年だと思えます。復興の姿が見えないとの声がある中で、今なお多くの方が仮設住宅での生活を余儀なくされています。このようなことから将来に対する不安が町民の心に大きいのしかかっています。そこには、NPO問題も影を落としていると考えます。この問題は、裁判を通して

広く町民および県民に説明していくことが、私の仕事のひとつと考えています。関係機関と連携を取り、解決に向け今後とも鋭意努力してまいります。
復旧・復興については当町の場合、着実に進んでいると考えています。昨年12月21日の船越・田の浜地区を最後に全ての地区で安全祈願祭も済み、町内全域で新生山田町に向けての工事が始まっています。2月には船越小学校が完成します。新校舎で元気に学び遊ぶ子どもたちの声が響き渡る、その時が待ち望まれます。
町づくりで最も難しい課題が

土地問題に対する住民の理解です。当町の場合、問題が無いわけではありませんが、他市町村に比べ、町民の皆さんのご理解を頂いていますことに、深く感謝申し上げます。
町づくりの中で基本とすることは、一人でも多くの町民の自宅を建築できるようにすることです。そのために、どのような支援をすることが自立再建の力になるのか、関係課で知恵を出さなくてはなりません。
役場は「町民のためにある」という基本精神を忘れずに、町づくりにとって一番大切な年を過ごしたいと思っています。



佐藤 智くん (荒川小6年)
平成14年3月生まれ



大石 泉さん (大沢・23歳)
平成2年11月生まれ



堀合 和裕さん (山田・59歳)
昭和29年10月生まれ

ことしの干支は午



今年の干支は午で、十二支の7番手となります。ウマは社会性の強い動物であることから、農耕馬、軍馬、競走馬など、人間との付き合いが古い動物です。また、干支で時間や方角を表すときに区切りとなる位置にいるため、「正午」「子午線」といった皆さんになじみ深い文字のひとつでもあります。「馬が合う」のことわざのようにみんなで息を合わせ、未来に向かって前進する一年にしたいものです。ちなみに町内の午年生まれの方は、平成25年12月1日現在で1,350人(男640人、女710人)となっています。



佐藤 朱莉さん (山田北小 6年)
平成14年2月生まれ



堀合 聖くん (大沢小 5年)
平成14年11月生まれ



木村 美玲さん (豊間根小 5年)
平成14年12月生まれ



武藤 伊吹くん (山田南小 6年)
平成14年2月生まれ



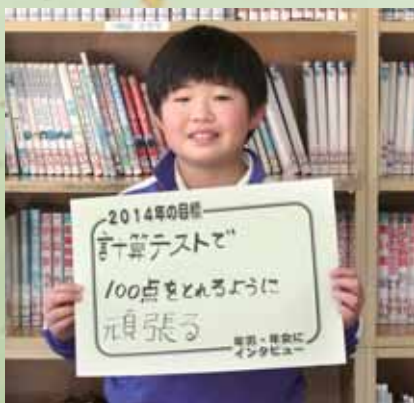
新春インタビュー



小林 萌さん (轟木小 5年)
平成14年4月生まれ



大手 啓佐くん (織笠小 5年)
平成14年12月生まれ



佐々木 駿くん (大浦小 5年)
平成14年5月生まれ



山崎 美緒さん (船越小 6年)
平成14年1月生まれ



佐藤 健さん (長崎・35歳)
昭和53年1月生まれ

今年生まれ12人に聞く 今年の目標・抱負を一言

新しい年が幕を明けました。皆さんも新たな気持ちと希望にあふれ、大きく胸を膨らませていることと思います。今号では、新春インタビューとして町内の午年生まれ12人に今年の目標や抱負をお聞きしました。

税の申告が始まります

書類の準備はお済みですか

ことしも例年どおり町県民税兼国民健康保険税と所得税の申告が始まります。申告の際には、収入や各所得控除の確認をするため、領収書などの書類が必要となりますので、準備してください。

◆問い合わせ 町税務課町民税係（☎82-3111内線111）へ。

▽東日本大震災による雑損控除

昨年の申告において損失申告を行っている翌年以降に繰り越される損失額がある方は、申告期間中に確定申告をする必要があります。昨年の申告で渡された「第4表平成24年分所得税

の確定申告書（損失申告用）を持参してください。

▽住宅借入金等特別控除の適用の特例

住宅借入金等特別控除の適用を受けていた住宅が、震災により居住することができなくなった場合でも、控除対象期間の残りの期間について、引き続きこの控除の適用を受けることができますので、忘れずに申告してください。

▽生命保険料控除

生命保険料控除額の改正により、新契約（平成24年1月1日以降の保険契約締結）と旧契約（平成23年12月31日以前の保険契約締結）の控除証明書がありますので、保険会社などから送付された控除証明書を全て持参してください。

▽医療費控除

自分や家族のために支払った医療費のうち、一定額を所得金額から控除することができます。医療機関や薬局の領収書を受診者ごとに整理しご持参ください。

▽社会保険料控除

自分や自分と生計を一にする家族の国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、国民年金保険料等、介護保険料などは、その全額を所得金額から控除することができます。ただし、年金か

平成26年度町・県民税

簡易申告制度のご利用を

町では町・県民税の申告について、次の日程で簡易申告を受け付けます。該当すると思われる方には申告書を1月中旬にお送りしますので、必要書類と印鑑を持参し申告してください。なお、所得税を源泉徴収されている方は簡易申告できません。

◆該当する人 昨年1年間（平成25年1月1日から12月31日まで）の収入が次の場合です。

- ・給与だけの場合 給与収入の合計が93万円以下の人
- ・公的年金等だけの場合
65歳以上…年金収入の合計が148万円以下の人
65歳未満…年金収入の合計が98万円以下の人
- ・公的年金等と給与の場合
65歳以上…年金が120万円以下で給与が65万円以下の人
65歳未満…年金が70万円以下で給与が65万円以下の人

※年齢は平成26年1月1日現在です。税金の計算の対象になる年金には、遺族年金や遺族恩給、障害年金などは含みません。

◆簡易申告の受付日程

期 日	場 所	時 間
1月28日(火)	豊間根生活改善センター	午前9時 ～午後3時
1月29日(水)	船越防災センター	
1月30日(木) ～31日(金)	役場町民ホール（1階）	

※簡易申告書を郵送で提出する場合には、1月31日までに町税務課へお送りください。

◎所得の無い人なども申告が必要です

昨年1年間まったく所得が無かった人や、所得が少なく所得税や町民税・県民税がかからない人でも▼国民健康保険税の税額の算定▼所得証明や課税証明などの交付▼町営住宅料や保育料、高額医療費の負担区分などの設定——のため簡易申告が必要です。なお、申告しなかった場合には国民健康保険税の軽減措置を受けることができなくなります。

固定資産税についてのお知らせ

償却資産を所有する方は 申告書の提出を忘れずに

固定資産税の算出の基になる償却資産を所有する方は、毎年1月1日現在の所有状況を申告しなければなりません。対象となる資産は、事業に使用する機械などです。これまで申告のあった方には通知書を送付していますが、通知書が届いていない方や新たに事業を開始し初めて申告する方には、申告の用紙をお送りしますのでご連絡ください。

なお、廃業や転出された方も申告の必要がありますのでご注意ください。

償却資産とは

固定資産税が課税される償却資産は、所得税法または法人税法の所得の計算上減価償却の対象となる資産で、土地および家屋以外の事業のために用いることができる次のような有形減価償却資産です。

▷課税の対象となる償却資産 構築物（建物以外の構造物）、機械および装置、船舶、車両および運搬具（自動車税、軽自動車税の対象となる車両は除きます）、工具および備品など

申告が必要な方

平成26年1月1日現在、町内に事業のために用いることができる償却資産を所有している方です。

なお、申告書は資産の増減のない方、免税点未満（課税標準額の合計が150万円未満）の方も提出してください。

提出する書類

- ▷前年度以前に申告された方…増減申告（町から送付された償却資産の「種類別明細書」を参照し、増減資産を記入してください）
- ▷初めて申告する方…全資産申告（すべての償却資産を申告してください）
- ▷廃業または転出された方…申告書に「廃業」「転出」などを記入のうえ提出してください。

震災により代替取得等となった償却資産の特例

震災により滅失、損壊した償却資産の所有者などが代替償却資産を取得、または改良した場合には、課税標準額を2分の1として税額を計算する特例が、取得または改良後4年度分にわたり受けられます。

申告期限

平成26年1月31日（金）

土地や家屋の所有者が亡くなった場合 納税の代表者の届け出を

土地や家屋の所有者が亡くなった場合は、相続登記が完了するまでの間の固定資産税について、納税の代表者を定めなければなりません。「相続人代表者指定届」により納税の代表となる方を決め、町税務課へ提出してください。一定期間が過ぎても届け出が無い場合は、町で任意に相続人代表者を指定することがあります。

なお、この届け出を行うことで、相続登記が完了するものではありませんのでご注意ください。

◆提出先・問い合わせ 町税務課資産税係（☎82-3111内線113、114）へどうぞ。



ら天引きされている国民健康保険税などは、年金受給者本人以外の所得からは控除できません。国民年金保険料等については、年金保険者から送付される「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付が必要となります。また、国民健康保険税については1月中旬に「年間納付額のお知らせ」を送付しますので、合わせてご準備ください。

パソコンで申告 ご利用ください

自宅からインターネットを利用して申告・申請・届け出などができる「e-Tax」をご利用ください。

確定申告をe-Taxで行うと、▶添付書類の提出省略▶還付金がスピーディー▶24時間受け付け——の利点があります。

▷手続きの手順

- ①住基カードを町民課窓口で取得
- ②電子証明書を町民課窓口で取得
- ③パソコンとICカードリーダライタを準備する
- ④国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp/>）へアクセス
- ⑤e-Taxの利用開始届出書を提出（送信）
- ⑥電子証明書の初期登録を行う
- ⑦申告書の入力をし、送信して終了

孫やひ孫の来訪を楽しみに 豊間根の田鎖さん100歳迎える

豊間根の田鎖ジュンさん(大正2年生まれ)は12月10日、100歳の誕生日を迎え、自宅を訪れた佐藤町長がお祝い金を贈呈してことほぎました。豊間根で生まれ育ったジュンさんは20歳で農家に嫁ぎました。9人の子宝に恵まれ、8人の孫、9人のひ孫もできました。数年前から家族の介護を受けながら暮らしていますが、元気なころは野良仕事の合間に庭でスイセンなどの草花を育てるのを楽しみにしていたということです。最近では孫やひ孫が休みの日に遊びに来るのを心待ちに毎日を過ごしています。



知事と高校生7人が懇談 「地元の底力で復興へ」

達増拓也・岩手県知事と宮古地域の七つの県立高校の生徒が懇談する「がんばろう！岩手」意見交換会が12月12日、山田高校で開かれ、同校から山根慶大くん(3年)が出席しました。山根くんは所属するボート部で、震災後に多くの人々の支援を受け国体優勝など輝かしい成績を収められたことに感謝。「東京五輪に出場し、将来は地元で生徒らにボートを教えたい」と夢を語りました。知事は「皆さんは復興の主役。地元の底力と様々つながりが合わさって復興の力になる」と若者の活躍に期待しました。

災害に強い情報通信網を

第1回「ICT復興街づくり検討会」開く

総務省推進のICT(情報通信技術)を活用した災害に強い町を目指す第1回「岩手県山田町ICT復興街づくり検討会」が12月3日、町役場で開かれ、学者や通信事業者、県・町の職員ら26人の委員が出席しました。

東日本大震災の被災自治体としては宮城県女川町に続き、2例目の取り組み。今年3月までに全3回の検討会と5回の作業部会を重ね、ブロードバンド(高速大容量)通信の環境整備や専用の地域通信網の構築、電子端末によって容易に行政情報を入手できるシステムづくりなどの計画について、報告書をまとめることになっています。

震災では電話回線や携帯電話の基地局、光ファイバー網などの通信設備が深刻な被害を受け、最長で18日間、電話が不通になった地域もありました。同検討会はそうした教訓を踏まえ、災害時に住民らに必要な情報を確実に伝えるため、ICTを生かした盤石な通信網の整備に向けて話し合うのが目的。課題は、光ファイバーによるブロードバンド回線が敷設されていない船越地区や豊間根地区の情報格差の解消などです。

第1回検討会で、佐藤町長は「社会的弱者を救う情報インフラを整備するため、専門的な知見による幅広い議論に期待したい」とあいさつ。柴田義孝座長(岩手県立大副学長)は「産・官・学・民の強みを結集し、山田町のケースが全国的なモデルになれば」と抱負を述べました。

震災では電話回線や携帯電話の基地局、光ファイバー網などの通信設備が深刻な被害を受け、最長で18日間、電話が不通になった地域もありました。同検討会はそうした教訓を踏まえ、災害時に住民らに必要な情報を確実に伝えるため、ICTを生かした盤石な通信網の整備に向けて話し合うのが目的。課題は、光ファイバーによるブロードバ



今後の話し合いの方向性を確認した第1回検討会



田町のわだこ

今月の題字 阿部 陽向くん（山田北小1年）



開始の合図とともに一斉に水槽に入る参加者ら

やまだの鮭まつりを開催 つかみどりに歓声上がる



12月8日、山田魚市場特設会場において「やまだの鮭まつり」が開催されました。これは、山田の主力産業である漁業を理解してもらうと同時に、旬のサケを味わってもらおうと毎年開催されているものです。会場では物産販売コーナーとしてサケ、新巻、ホタテなどが出品されたほか、出店コーナーでは鮭汁やイクラ丼、焼きガキなどを販売。これらを求める大勢の来場者でにぎわっていました。そして鮭まつりのメインイベントは、3回実施されるサケのつかみどり。われ先にと大物を狙う参加者と、それを応援する見物客で大いに盛り上がりを見せていました。

大沢地区で震災復興事業が着工 安全祈願祭が執り行われる

織笠、山田、大浦地区に続き、大沢地区震災復興事業が着工されました。12月9日、工事の無事を祈願する安全祈願祭を実施。神事終了後、佐藤町長は「住民に待ち望まれていた事業。今後も復興事業にまい進していく」とあいさつしました。同事業は、住まいの再建と漁業の再生を軸とし、土地区画整理事業と漁業集落防災機能強化事業を組み合わせたものです。範囲は合計で約21.1％。沿岸部には海面高さ9.7mの防潮堤が整備され、中心部は平均1mかさ上げされます。大沢地区には234戸の宅地と、県と町による災害公営住宅88戸が整備される予定です。



「山田町地域防災計画」について
町民の皆さんの意見を公募します小谷鳥の遺跡で
調査成果を公開

◎割畑沢 I 遺跡発掘調査現地公開

復興計画に伴い発掘調査を実施した割畑沢 I 遺跡の調査成果をお知らせする現地公開を開催します。遺跡では約4,500年前（縄文時代中期）の竪穴住居が20棟以上発見されました。住居は最大で直径が約10^{わりはたさ}もあり

▷日時 1月11日(土)

午後1時半～2時半

▷場所 割畑沢 I 遺跡現地(小谷鳥地区)

◆問い合わせ 町生涯学習課文化係(内線622) へどうぞ。

各種相談あります
お気軽にご利用を

◎行政相談

▷日時 1月16日(木)

午前10時～正午

▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室、集会室

▷内容 国や県、市町村の仕事で納得できないことなど

◆問い合わせ 町町民課生活安全チーム(内線126) へどうぞ。

◎酒害相談

アルコールの問題で悩んでいる人やその家族を対象に、酒害相談員が応じます。

▷日時 1月15日(水)

午後1時～3時

▷場所 釜石地区合同庁舎2階(釜石市新町)

▷申込期限 1月14日

◆申込先・問い合わせ 釜石保健所(☎0193-25-2702)

◎宮古地区無料法律相談

▷相談日 1月9日、16日、18日、23日、30日

▷時間 午前10時～午後3時

※土曜日は午後4時まで

▷場所 宮古市役所1階

▷申込先 宮古市市民相談室(☎62-2111)

◆問い合わせ 岩手弁護士会(☎019-623-5005) へどうぞ。

宮古・下閉伊の
高校芸術展開催

◎第27回宮古下閉伊高校芸術展

▷テーマ 「翼～明るい未来を背負いはばたく～」

▷日時 1月17日(金)～26日(日)▶美術・工芸…17日午後

1時～5時半、18日午前10時

～午後5時半、19日午前10時

～午後3時半▶写真・放送…

1月21日午後1時～5時、22

日午前10時～午後5時半、23

日午前10時半～午後3時半▶

華道・書道…1月24日午後1

時～5時半、25日午前10時～

午後5時半、26日午前10時～

午後3時半

▷場所 宮古市図書館(宮古市宮町)

▷参加校 山田高校・宮古高校・宮古高校定時制・杜陵高校宮古分室・宮古北高校・宮古商業高校・宮古水産高校・宮古工業高校・宮古恵風支援学校・岩泉高校

▷入場料 無料

◆問い合わせ 岩手県高等学校文化連盟宮古支部(岩泉高校 ☎0194-22-2720) へ。

町道ブナ峠線で
冬季全面通行止

町道ブナ峠線は冬季間、降雪が予想されるため全面通行止めを実施しますので、ご協力をお願いします。

▷期間 1月1日～3月31日

▷場所 豊間根第8地割内

▷規制内容 全面通行止め

◆問い合わせ 町建設課土木チーム(内線232) へどうぞ。

町では、公表中の「山田町地域防災計画」(素案)について、広く町民の皆さんを対象にパブリックコメント(意見公募)を実施しています。寄せられた意見・提言を踏まえて地域防災計画を策定し、「災害に強いまち」の実現を目指します。

▷地域防災計画の公表場所 ▶町公式ホームページ上▶町役場本庁舎1階町民ホール

▷対象者 町内に在住・在勤・在学している方

▷公募期限 1月17日

▷意見提出の際の必須記入事項 ①タイトル「山田町地域防災計画(素案)」への意見②氏名③住所④連絡先⑤意見本文

▷意見の提出方法および提出先 ①持参の場合…山田町役場4階総務課危機管理室②郵送の場合…〒028-1392 山田町八幡町3-20 山田町役場総務課危機管理室③ファクスの場合…0193-82-4989④電子メールの場合…専用アドレス(bousai@town.yamada.iwate.jp)宛てに送信してください。件名は「山田町地域防災計画(素案)に対する意見・提言」としてください。

◆問い合わせ 町総務課危機管理室(☎82-3111内線415、419) へどうぞ。

「復興特別所得税」が創設されました

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法が交付され、「復興特別所得税」が創設されました。復興特別所得税は、基準所得税額に2.1%を乗じた金額となります。

個人の方で所得税を納める義務のある方は、復興特別所得税も併せて納める義務があります。詳細はホームページ(http://www.nta.go.jp)をご覧ください。

◆問い合わせ 宮古税務署(☎62-1921) へどうぞ。

町県民税の均等割の税額が変わります

「東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」が制定されたことに伴い、平成26年度から35年度までの10年間に限り、個人の住民税の均等割の標準税率を、町民税・県民税いずれも年額500円引き上げることになりました。

住民税均等割の額

区分	平成25年度まで	平成26～35年度まで
町民税分	3,000円	3,500円
県民税分	2,000円	2,500円
合計	5,000円	6,000円

◆問い合わせ 町税務課町民税係(☎82-3111内線111、112) へどうぞ。



まちかどスナップ

海の事件・事故を 見たら118番通報

◎1月18日は118番の日

海上保安庁では、毎年1月18日を「118番の日」に定めています。局番なしの「118番」は、海上での事件・事故の緊急通報用電話番号です。次のような場合は速やかに通報をお願いします。▶海難人身事故に遭遇した、または目撃した▶密漁・不法投棄・密航・密輸事犯等の情報を得た▶見慣れない船、不審な船を見た▶油の排出等を発見した——など。

◆問い合わせ 釜石海上保安部
(☎0193-22-3820) へ。

遠野実習場で受講 職業訓練生を募集

岩手職業能力開発促進センター（ポリテクセンター岩手）遠野実習場では、職業訓練の受講生を募集しています。求職中の方は、この機会にぜひお申し込みください。

▶募集科 住宅建築施工科
▶募集人数 15人
▶訓練期間 3月4日～8月27日

▶訓練場所 ポリテクセンター岩手・遠野実習場（遠野市）
▶受講要件 ハローワークに求職の申し込みを行っている人
▶受講料 無料

※ただし、テキスト代は自己負担となります。

▶入所選考日 2月19日（水）
※選考場所・方法などについてはお問い合わせください。

▶申込期間 1月7日～2月12日

▶申込先 ハローワーク宮古（☎63-8609）

◆問い合わせ 岩手職業能力開発促進センター遠野実習場（☎0198-63-1411）へどうぞ。

おしらせ

来年卒業者対象 就職ガイダンス

◎いわて就職ガイダンス

▶日時 1月18日（土）

午後1時～4時半

▶場所 岩手産業文化センター
アピオ（滝沢村滝沢）

▶対象 平成27年3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専、専門・専修学生

▶参加企業 岩手県内に就業場所があり、正社員・正職員の求人を有する企業

▶内容 会社説明や新卒応援ハローワークによる就職相談

◆申込先・問い合わせ 公益財団法人ふるさといわて定住財団（☎019-653-8976）へ。

ふるさと就職面談 参加企業を募集中

2月8日午後に宮古市民総合体育館で開かれる「宮古・下閉伊地区ふるさと就職面談会」への参加企業を募集しています。

▶対象企業 宮古公共職業安定所に正社員求人を申し込んでおり、宮古・下閉伊地区に就業場所を有する事業所

▶内容 同地区に就職を希望する求職者との面談

▶応募期限 1月20日

◆申込先・問い合わせ 宮古地域雇用対策協議会（☎63-8609）へどうぞ。

三陸復興国立公園 ボランティア募集

三陸復興国立公園内で、自然保護などの活動をする「パークボランティア」を募集します。

▶応募期限 1月17日

※平成26年4月1日現在の年齢が20～67歳などの応募要件があります。募集要項等を送りますので、ご連絡ください。

◆申込先・問い合わせ 環境省宮古自然保護官事務所（☎62-3912、ファクス62-3914）へどうぞ。

ホームタンクの 油漏れにご注意

◎ホームタンクからの油漏れ事故防止について

毎年、ホームタンクからの油漏れ事故は、暖房器具を使用する冬期に多発しています。油漏れ事故は火災発生の危険のほかに、河川や海の汚染など環境に多大な影響を及ぼすことから、各家庭では下記の事項に注意するようにお願いします。

▶事故防止対策 ▶ホームタンクから油を小分けする際は、その場を絶対に離れない▶開閉バルブの操作は確実に行う▶ホームタンク本体や配管、バルブを定期的に点検し、損傷や腐食のあるものは早めに取り替える▶落雪による損傷に注意する▶事故を発見したときは、直ちに応急処置をして、消防署または市町村役場に通報する

◆問い合わせ 山田消防署予防係（☎82-3139）へどうぞ。

「国有林モニター」 を募集しています

◎平成26・27年度「国有林モニター」の募集

東北森林管理局では、国有林の管理・経営に皆さんの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

▶募集人数 48人程度

▶応募期限 1月31日（当日消印有効）

▶任期 2年間（平成26年4月～28年3月）

▶内容 アンケートへの回答、現地見学会・国有林モニター会議への出席など

※応募資格、応募方法など詳しくは局ホームページ（<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>）をご覧ください。

◆問い合わせ 東北森林管理局企画調整課林政推進係（☎018-836-2228）へどうぞ。

復興計画イメージ 役場1階で放映中

役場1階町民ホールの大画面テレビ画面で午前9時～午後3時、復興整備事業が着工した山田地区と織笠地区の町づくりのイメージ映像を放映しています。事業計画に基づいた3次元コンピュータグラフィックスで、他地区の映像も順次紹介していく予定です。ぜひご覧ください。

◆問い合わせ 町復興推進課（内線341）へどうぞ。

消防関係資格試験 盛岡市で行います

◎消防設備士試験

▶試験種類 甲種、乙種全類

▶試験日 2月22日（土）

▶受付期間 ▶電子申請…1月4日～11日▶書面申請…1月7日～14日

◎危険物取扱者試験

▶試験種類 乙種第4類

▶試験日 3月15日（土）

▶受付期間 ▶電子申請…1月24日～31日▶書面申請…1月27日～2月3日

◆場所 建設研修センター（盛岡市松尾町）

◆願書の配布場所 山田消防署予防係（☎82-3139）

◆申込先・問い合わせ 消防試験研究センター岩手県支部（☎019-654-7006）へ。

工作や昔の遊び 小学生、集まれ

◎山田の子供の会

▶日時 1月13日（祝）

午前10時～

▶場所 町中央公民館小ホール

▶内容 小学生対象の工作や昔遊び、子ども宝くじなど

※工作の材料の数に限りがあります。保護者同伴で早めにお越しください。

▶参加費 300円

◆問い合わせ 山田町商工会青年部（☎82-2515）へどうぞ。



□□□□□□

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ
〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線417)へどうぞ。

正月にして至福

十二月三十一日、平成十七年最後の日。

この年を無事平穩に過ごした事に、敬神敬愛の念抱く、神仏に感謝の意を込め、そして新しい年への夢と望みを託して、古来よりお正月を祝して誰もが実感して居る、日本の美しい文化「年縄」。その年縄を廻している中で、向地の俺んこの倉庫のところで美しい小鳥を発見。

毎日のように見ている背黒「セキレイ」に姿恰好はそっくり、だが色合いが全然違う。よって直感的に「黄セキレイ」と分かった。

今まで、本とかテレビなんかで見てはいるが、地元大浦で見ることが無かったのも、大浦では生息して居ないものと思っておった。いつでもどこでも、機会があったら身近におるといふ小鳥ゆえ、見たいものと思っておっただけに、偶然にも世紀の大発見！

正月にして至福の一刻である。
山崎 卓三(大浦・?)

三六五分の一日 (二月一日)

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。
萬寿。

前年・平成二十五年で投稿をやめようと思っていましたので、気持ちの整理のつかないまま、急きよ書きましたので悪しからず。目を通して足りない部分は、ご判読頂ければありがたいです。
三六五分の一日目は、つまり一月一日のことです。年の瀬に煤掃きをし、神棚を清め三階松を門松に迎え、年縄をない、しめ飾りをつけ、一年の福を呼び疾病をはらうのが、日本古来の行事でしょう。そしてNHKの

紅白歌合戦など、年末のテレビを見ながら「オトソ」を頂き、美酒にはろ酔い気分を除夜の鐘を合図に、元朝参りに出かけ、神社、仏閣をまわり、一年の家内安全と交通安全などを祈願し、御来光を拝むのも日本特有の習わしではないでしょうか。更には、正月三が日(一日、三日、五日)には餅を食べ、秋の就労で疲れた体を補うため、日本人の食文化の知恵でしょう。

西館 隆(船越・80)

やまだ文芸広場

酒

一杯、人、酒のみ
二杯、酒、酒のみ
三杯、酒、人を飲む
牧水引用の

酒はしずかに飲むべかりけれ
大晦日しみじみと飲む寒の酒
まっすぐ喉を落ちてゆきたり

内館 洋一(飯岡・?)

いちにちを
元気で生きた
それだけヨ

ひたむきに
汗を流して
今日を生きた

芳賀 誠一(豊間根・72)

猫達が車置場に来てもどる
暗き面かげ我が胸にしむ

昆 ユリ(織笠・80)

浜の男

一、秋風肌にしみる頃
浜の男の腕が鳴る

今日はアワビの解禁日
夜明けと共に竿させば
大判小判の山ができ
女房の笑顔が目につかぶ

二、イカ釣り船は今日も行く

漁場に付けば日も落ちて
光り輝く集魚灯
忽ちよせるイカの群れ
今朝も大漁の日が昇る
嫁ぐ娘が目につかぶ

三、北風吹けばサケの群れ

沖のカモメも呼んでいる
定置の網に渦が巻く
船に金銀サケの山
今年も大漁の年の暮れ
家族笑顔で春を待つ

岡市 健吾(飯岡)

復幸馬

今年は、馬年...復幸馬が、走るよ。
山田の幸せ願って走り続けるよ。
山田の町民のみなさん、
ご健康と幸せのよい一年で、
ありますように。

佐藤 啓子(船越・?)

イラストコーナー



キノコ中毒 (織笠・14)



ひじきlur (船越・12)

イラストどんどん
送ってください♪





まなぶ
香月学さん（織笠・44）

「食の力で町を復興したい」

（ムール貝）などが名物「山田の醤油」で調味したつゆと貝類のスープが混然一体となり、やさしく舌に染みまします。香月さんは「リピーターも増えて手ごたえを感じ」と語り、震災後もこの町で生き抜く決意を新たにしています。



豊間根地区にあるスーパーの敷地で昨年11月に開店したうどん・そば店を営む香月学さんの転機もやはり、2年10カ月前のあの出来事でした。「食を通じて震災で全国の皆さんから受けたご恩を返し、復興の力になりたい」。万感の思いを込めて名付けた屋号はただ「ありがとう」。

津波と火災で境田町の自宅は壊滅。「全ては終わった」と絶望の淵にあつた時、心の支えになったのは避難所で接した医療従事者や自衛隊員、ボランティアたちの献身的な姿でした。感動した調理師の香月さんは「おいしいもので人を元気にできれば」と進むべき道を決めました。うどんやそばを選んだ理由は好物なのはもちろん、「シンプルだけに、ごまかしが利かない」うまさの魅力だからだといいます。看板メニューは「山田うどん・そば」。カツオと昆布、山田産の煮干しでとった熱いだし汁を麺に張り、具には同じく山田の海の幸、ホタテやしめうり

キッチンスタジオ No.61 ハーモニー

このコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は三つ葉で結んだ薄焼き卵の彩りも鮮やかな「茶巾ずし」を紹介します。

【材料（6個分）】

米…1カップ 昆布…5㌔角1枚 酒…大さじ1
三つ葉…適量 漬物（たくあん漬け・高菜漬けなど）…50㌔ 白ゴマ…大さじ1 塩サケ（甘口）…1切れ

《合わせ酢》

酢…大さじ1 砂糖…大さじ1 塩…小さじ1/4
ショウガ（みじん切り）…小さじ1

《薄焼き卵》

卵…4個 砂糖・片栗粉・水…各小さじ4 塩…少々
サラダ油…少々

【作り方】

- ① 米は洗い、やや堅めの水加減にして昆布・酒を加え、普通に炊く。
- ② 漬物はそれぞれみじん切りにする。塩サケはグリルで両面を焼き、皮と骨を取って粗くほぐしておく。
- ③ 合わせ酢の材料をよく合わせておく。ご飯が炊けたら昆布を取ってほぐし、合わせ酢を回しかけ、切るように混ぜていく。
- ④ ③に白ゴマをひねりながら加え、②も加えて混

茶巾ずし



ぜる。

- ⑤ 薄焼き卵を作る。卵を溶いて分量の砂糖・片栗粉・水、塩少々を加え混ぜ合わせたらこす。フライパンに油を温めて卵液を広げ、色が変わったら裏返して一呼吸置き、取り出す。
- ⑥ ④のすし飯を6等分し、ラップで包んで丸く形作る。⑤の薄焼き卵を小さな容器に広げてすし飯をくるみ、さっとゆでた三つ葉で結ぶと出来上がり。

今月の1コマ



建設が進む災害公営住宅
(豊間根地区・平成25年12月18日撮影)

おめでとう・おくやみ

11月届け出分(敬称略)

【出生】()は保護者と性別

▷山田 川崎千愛(透・女)、吉川綾香(正・女)

▷大沢 鈴木愛莉(有・女)

▷荒川 齋藤和真(栄進・男)

【結婚した二人】()は住所

尾無徹(織笠)・倉本准奈(大槌町)

土沢直樹(遠野市)・坂本裕香(船越)

鳥居和剛(大沢)・遠藤由香(宮古市)

田代一也(船越)・基野真実(織笠)

中村邦人(船越)・佐々木梢(飯岡)

【死亡】()は年齢

▷山田 羽太良一郎(88)、武藤茂(84)、貫洞ツタ(88)、菊地庄治(74)、千代川スマ(92)、佐々木信雄(68)

▷船越 阿部善喜(93)

▷織笠 小林昭光(74)、中村久夫(83)

▷大沢 佐々木忠三(72)

▷豊間根 齋藤ヤス(77)

町民のうごき

(11月1日～30日)

▷出生……4人 ▷転入……26人

▷死亡……16人 ▷転出……27人

▷人口…16,980人(今月減13人)

男…8,236人 女…8,744人

▷世帯数……6,716世帯

◆山田に来て早3カ月、初めてのお正月です。震災は現在進行形なのだと痛感する一方、復興に向けて力強く歩む町民の皆さんに励まされる毎日。全ての人が幸せでありますように。

◆昨年は「締め」切りに追われ続けましたが、こしは気を引き「締めて」そうならないようにしたいです。もちろん締めたい、ウエストの方は「緩めて」いきたいと思います。



正



昆 修 助
(長崎・恵一・男)



白 野 美 佳
(長崎・貴・女)



石 川 琥 大朗
(長崎・祐市・男)



福 士 優 斗
(山田・洋生・男)



※敬称略、()内は地区名・保護者・性別です。



花 岡 咲 映
(船越・恭兵・女)



阿 部 紗 也
(飯岡・信也・女)



坂 本 結 希
(境田町・二郎・女)



菊 池 真 心
(船越・真吾・女)

全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会

山田中・澤田くんに優秀賞

今年度の全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会で、山田中学2年の澤田拓真くんの作文が3位に当たる優秀賞10編のうちのひとつに選ばれ、12月12日、同校で表彰式が行われました＝写真。



県内から2,881編の応募があり、澤田君は優秀賞の盛岡地方法務局長賞を受賞。作文は夏休みに見学した縄文時代の三内丸山遺跡(青森市)を通して、地域社会で人々が協力し合い、コミュニケーションを図る大切さを指摘しています。澤田くんは「これからもニュースや社会に関心を持ち、人権問題について深く考えていきたい」と話していました。